

12 月 19 日：VN 指数は終盤に反発 (VN-Index +0.40%)

- VN 指数は弱い投資家心理が続いていたことが重しとなり、前日終値の水準を下回って取引を開始した。
- 開始直後は小幅な上昇となったものの、一日を総じて売り方の勢いが優勢だった。
- 大型株と銀行セクターに加え、HAG (-6.77%)、HQC (-6.97%)、ITA (-6.93%) といった小型株がいくつかストップ安を記録したことにより、市場は徐々に下落した。
- ただ、指数が 1080pt 水準に達すると市場は急反発。強い底値拾いの動きが見られたことにより、辛うじて前日比プラスで取引を終了した。
- 市場は回復し、256 銘柄が上昇、231 銘柄が下落、95 銘柄が変わらずだった。
- しかし、流動性は依然として低く、前日比 13%減の 12.8 兆ドンとなった。

VN30 指数が上昇をけん引 (VN-30 +0.66%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、上昇が 20 銘柄、下落が 6 銘柄、変わらずが 4 銘柄だった。
- HDB (+2.99%)、MWG (+2.65%)、HPG (+2.26%)、CTG (+1.73%) が市場の回復を支えた。
- MSN (-1.11%) と VHM (-1.00%) は、同指数の同業他社に比べ出遅れた。

セクター・個別株の動き

- 年末消費が活況となったことによる鋼材価格の上昇により、鉄鋼関連銘柄の HPG (+2.26%)、HSG (+3.61%)、NKG (+5.49%) が上昇した。
- LDG (+1.38%) は、元会長が捜査のために逮捕された後、新しい会長兼 CEO が任命された。

- 外国人投資家の売り越しはいまだ納まらず、本日もさらに 4,027 億ドンの売り越しとなった。大幅な売り越しとなった銘柄は、EIB (+2.23%)、VNM (0.00%)、SSI (+1.42%) だった。一方、DGC (+1.65%) が最も買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。